

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
511	訪問指導事業(負担金分)		01	01	一般会計
			04	04	衛生費
基本施策	1	10万市民の健康を維持する	01	01	保健衛生費
			01	01	保健衛生総務費
担当部課名	島ヶ原支所 健康福祉課		05	102	保健事業
作成者氏名	脇坂 長充	連絡先	0595-59-2163	05	訪問指導事業(負担金分)

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
	検診の結果や心身の状態から保健指導が必要な方	心身の状態が低下することが防止され、健康が保持増進できる。			
本年度事業内容	訪問を希望されている方や訪問が必要な方に対し、保健師が家庭を訪問し必要な指導を行った。				
開始年度	平成 16 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	老人保健法

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.06	0.1	0.1
人件費合計(A)	432	720	720
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	116	54	54
需用費	116	54	54
その他			
合計(A+B)	548	774	774
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金	77	36	36
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	471	738	738
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
被訪問指導延人員	人	13	13	13			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
訪問達成率	訪問を必要とするケースにどれだけ訪問できているかにより判断する	%	90 目標 ( 100 )	100	100
			目標 ( )		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

訪問が必要なケースが表面化しないため把握できないこともある。民生委員・児童委員や社協等と連携し対象者把握に努める必要がある。
----------------------------------------------------------------

評価	必要性	4	事業を現状維持する。 訪問指導は、高齢者の閉じこもり予防、介護支援等幅広い事業実施に努めなければならない。	総合評価
	有効性	4		A
	達成度	2		
	効率性	4		